

鴨川沿い行政看板の分かりやすさに関する研究

- 日本人と外国人の比較調査を基に提言 -

京都女子大学「京をつなぐプロジェクト」

○近藤 優衣(Yui Kondo)・林 可奈(Kana Hayashi)・古鞘 歩花(Honoka Kosaya)・

友次 絢音(Ayane Tomotsugi)・上田 菜月(Natsuki Ueda)・

沼澤 藍妃(Aibi Numazawa)・松下 晃子(Akiko Matsushita)・

塩川 瑤子(Yoko Shiokawa)・戸川 琴乃(Kotono Togawa)

(京都女子大学現代社会学部現代社会学科・文学部国文学科・文学部史学科・

家政学部生活造形学科・法学部法学科)

キーワード：行政看板、観光と市民生活の調和

1. はじめに

2019年に京都市を訪問した総観光客数は5,352万人であり、そのうち外国人観光客数は886万人と過去最高を記録した(京都市 2019)。このような観光客の急増に伴って、各種の課題が生じる場合がある。例えば、日本人が容易にその意図を理解できる注意喚起標識・案内板であっても、外国人にとっては「わかりにくい」と感じられ、そのために、危険な行為やマナー違反に繋がり、快適な観光地やまちづくりの保全に支障をきたすことも考えられる。

そこで本稿では、鴨川における注意喚起標識・案内板等の行政の看板(行政機関によって設置された注意喚起標識や路面標示等のサインとし、以下では「行政看板」と呼ぶものとする)「わかりやすさ」が、観光と市民生活の調和にどのように貢献し得るかについて考察する。

2. 鴨川における注意喚起標識等の課題

現在、鴨川は京都府京都土木事務所の管轄地域に含まれている。京都土木事務所では鴨川川岸の遊歩道の整備も行っているが、遊歩道において自転車が比較的スピードを高いまま走行し、歩行者への危険が生じることを問題視してきた。このような危険性の認識を基に、スピード抑制や、自転車利用者向けの表示を行ってきたが、これらが外国人を含む遊歩道利用者に適切な情報提供を行っているかについての検証は十分とはいえない。

3. アンケート調査目的及び結果

3.1 調査概要

そこで本稿では、京都土木事務所の協力も得つつ、既存の行政看板における課題を絞ることを目的として、アンケート調査を実施した。調査にあたっては、鴨川沿いに設置されている行政看板の中で、特にデザイン・文章表現がシンプルであり、内容の理解が難しいと推測される図1・図2を対象とした。

図1は自転車のスピード抑制を喚起する行政看

板であり、図2はこの先は階段のみであることを案内する路面貼付型の行政看板である。



図1 スピード抑制



図2 案内標識

調査対象は、外国籍で京都在住または京都に留学経験のある外国人(アメリカ・韓国・中国・台湾・イギリス・ドイツ・フランス・フィリピン)28名と、鴨川の利用歴がある、または鴨川付近に在住の日本人34名の計62名(どちらのグループも20代~50代の男女)とした。

質問項目は、主に、表示に関する理解のしやすさ(認識可・不可)、および、設置者の意図通りの理解が行われているかの2点である。

3.2 調査結果

アンケート調査の結果は図3・図4の通りである。

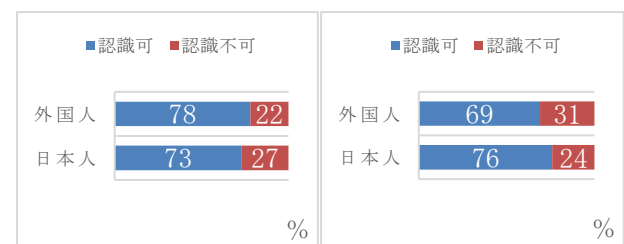


図3 図1の認識度

図4 図2の認識度

図1の看板が注意喚起している内容については、日本人、外国人ともに「理解できる(認識可)」とした回答が多かった。しかし、図1は自転車運転者に向けて歩行者への注意を促すことを目的としているが、回答者によっては「死角から歩行者が出てくる可能性がある道であること」「歩行者に対して、自転車の方に注意喚起している看板」であるといった、誤解とも捉えられる解釈が見られた。

(日本人3件、外国人2件)。

図2の看板が注意喚起している事柄については、日本人、外国人ともに半数以上が看板の意図を理解できるとした。しかし、図2も「この先にある階段部分のみ、自転車・車椅子は通行不可」という意図であるにもかかわらず、「この道は自転車・車椅子は(全面的に)通行不可」であるとのように、設置者の意図と異なる理解をしている回答が外国人に4件見られた。なお、日本人には図2の看板についての誤解は見られなかった。

4. デザイン提案

このように、設置者の意図と異なる解釈が生じる背景には、設置者側が、表示解釈を行う主体が表示をどのように理解するかを汲み取って、デザインに反映するプロセスが十分ではないことが関与しているものと思われる。

そこで、本プロジェクトでは、ヒアリング対象者の意見を基に、2つの行政看板を改善する場合どのようなデザインが考えられるか検討した。

図1の改善案が図5、図2の改善案が図6である。



図5 スピード抑制



図6 案内標識

図5の代替案は、自転車運転者の視点に向けたピクトグラムと英語表記の追加、目を引くアートに重きを置いたデザインにした。特に、アンケート調査結果から、「注意喚起の対象者が誰なのかわかりにくい」といった意見が得られたことから、自転車運転者の視点をデザインの中心に据えることで、「自転車運転者に対する注意喚起」であることを伝えるよう努めることとした。

図6の代替案は、アナモルフォーシス手法を用いて、遠近法で路面標示が立体的に見えるデザインとした。アナモルフォーシス手法は、「止まれ」といった路面標示や自動車の減速標示(イメージハンプ)に近年活用されており、注意喚起の効果が立証されている(永見ほか 2018)。アナモルフォーシス手法に、自転車と車椅子を表すピクトグラムにスロープを加え、文字等の情報量を減らし、簡潔にまとめたデザインに努めた。

なお、本稿執筆時点において、京都土木事務所の協力を得ながら図5・図6に関する第2段階の評価を行い、その結果を取りまとめているところである。

5. 考察・結論

本調査により、日本人にはその意図する情報が伝わる注意喚起標識・案内板であっても、外国人には理解しづらい表記や表現があることが明らかとなった。そのため、日本人にも外国人にも理解されるグローバルな行政看板を提案する必要がある。なお、その際には、世界共通である注意喚起の色彩やピクトグラムを使用すること、そして日本語だけではなく英語表記も加えたデザインを心掛ける必要がある。

注意喚起標識・案内板の在り方を見直すことで、その設置環境の改善に繋がり、観光と市民生活の調和を期待できる。さらに、現在乱立している注意喚起標識・案内板の必要性を見極め、適切な場所で効果を発揮できるよう整備していくことにもつながるであろう。

なお、今回の調査では外国人28人と日本人34人に対して2つの行政看板に関する調査を行った。今後さらに偏りのない意見集約を行うためには、更に調査対象者数の増加を図る必要がある。また、今回の対象となった表示の他にもわかりにくい行政看板があることが考えられるため、調査対象とする表示を拡大する必要もあるだろう。

そもそも、観光と市民生活の調和のためには、行政が主体となって、管理する看板や標識の意図が正しく伝わるかを事前に調査する必要がある。このようなプロセスを通じて、新型コロナウイルス感染が収束し、再び多くの観光客が京都市を訪れるようになった際、各課題が少しでも解決され、観光客と市民双方が快適に過ごすことができるようなまちづくりが実現されるよう期待する。

参考文献

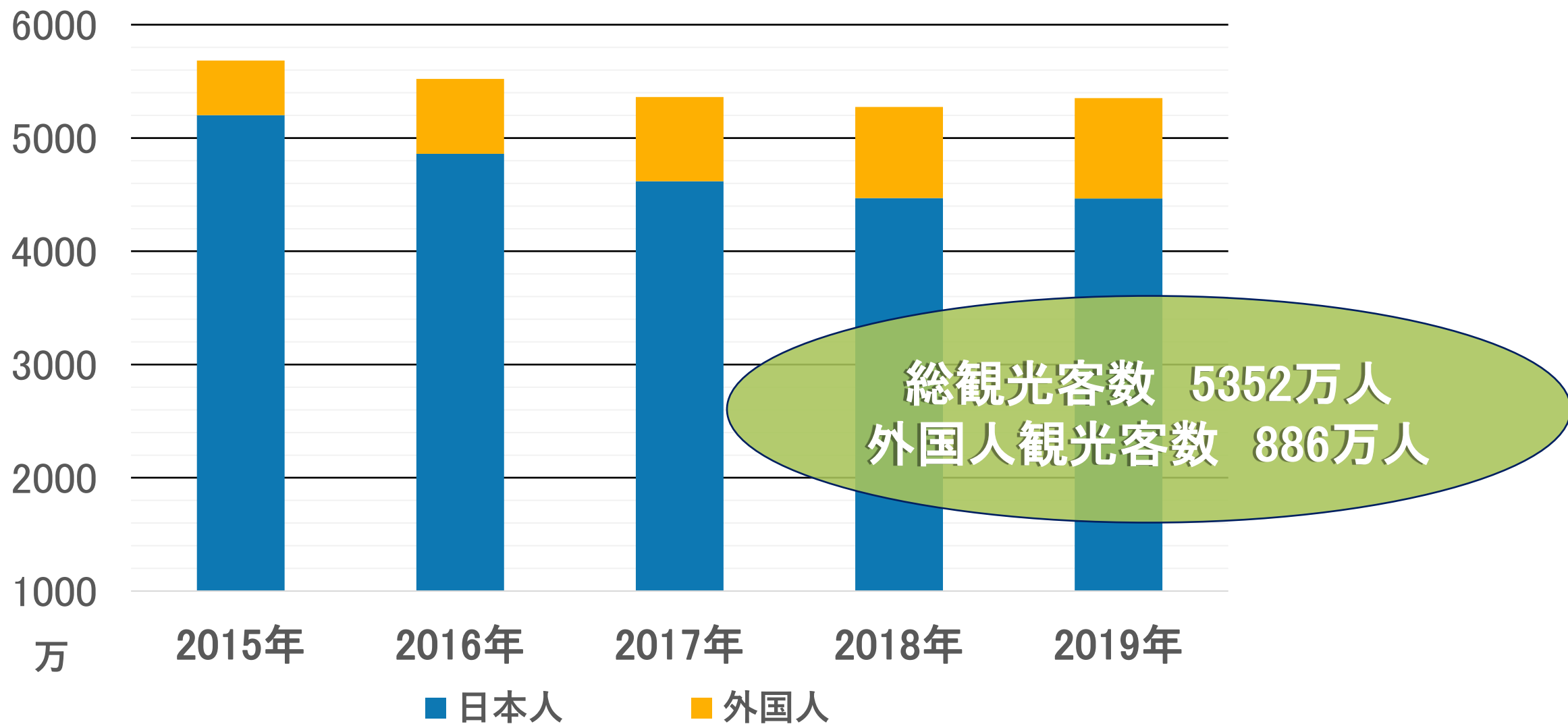
- 1) 京都市 (2019)「令和元年 京都観光総合調査」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/cmsfiles/contents/0000271/271655/honsatu.pdf> (最終閲覧日 2021年10月24日)
- 2) 永見豊 岩里泰幸 鈴木晴子 井上徹「アナモルフォーシスを用いた逆走対策立体路面標示のデザイン」『交通工学論文集』4巻1号 pp. B_57-63(2018)



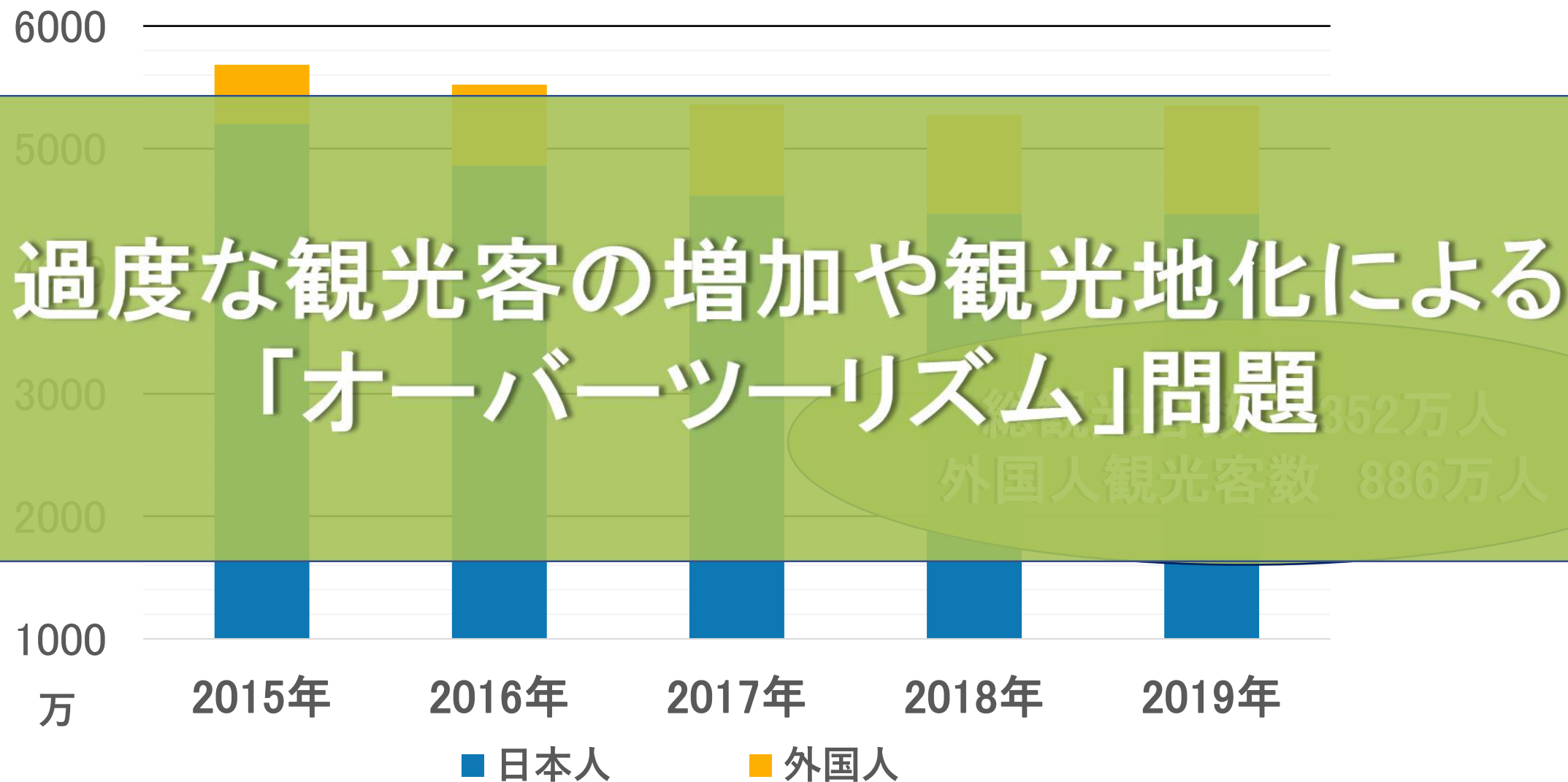
悠久の歴史に育まれた
文化や伝統、自然



京都市観光客数 推移



京都市観光客数 推移



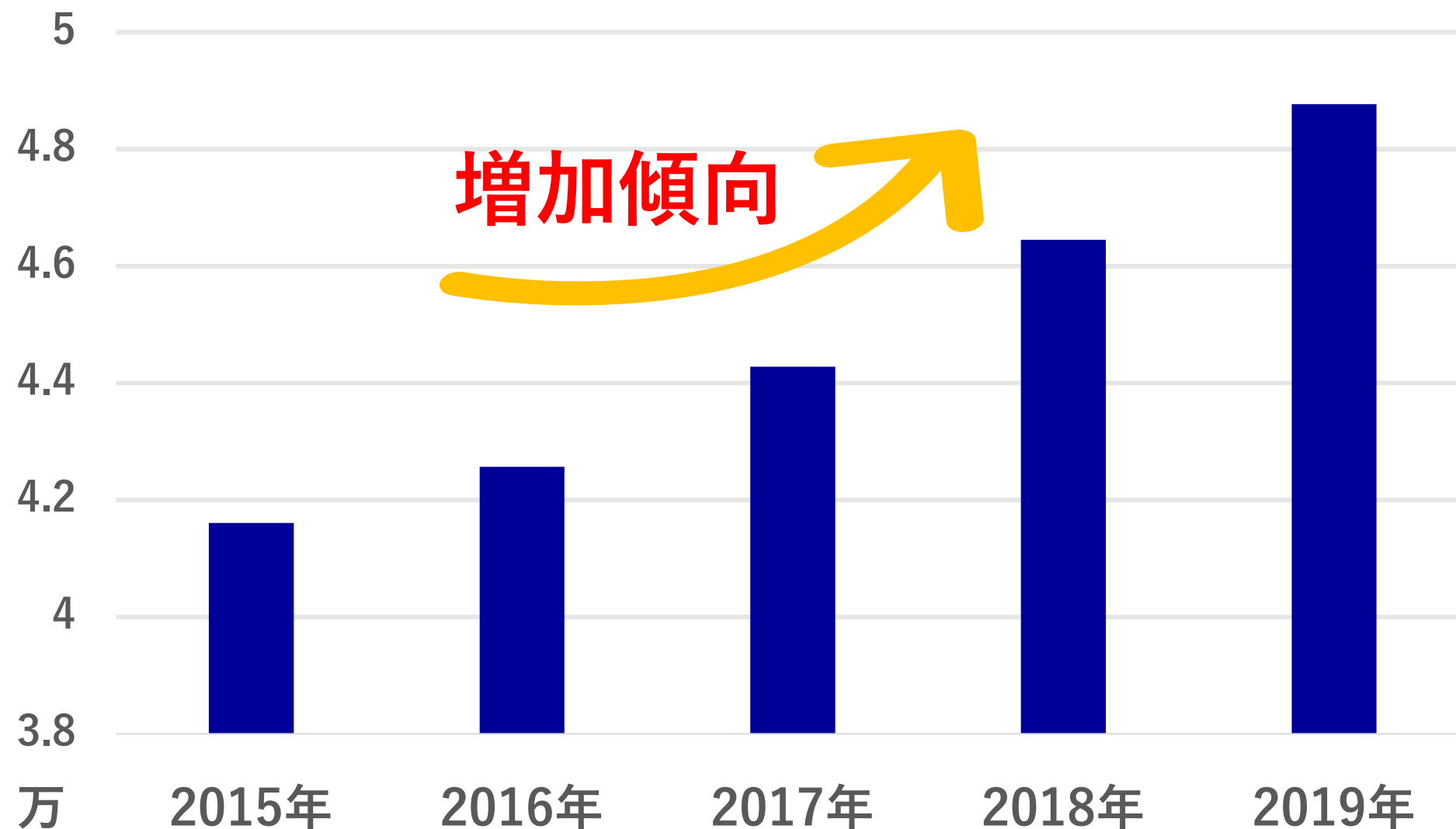
ただし…



マナー違反は、観光客に限った問題ではない



京都市外国人住民数 推移



多文化共生へ

外国人

日本人

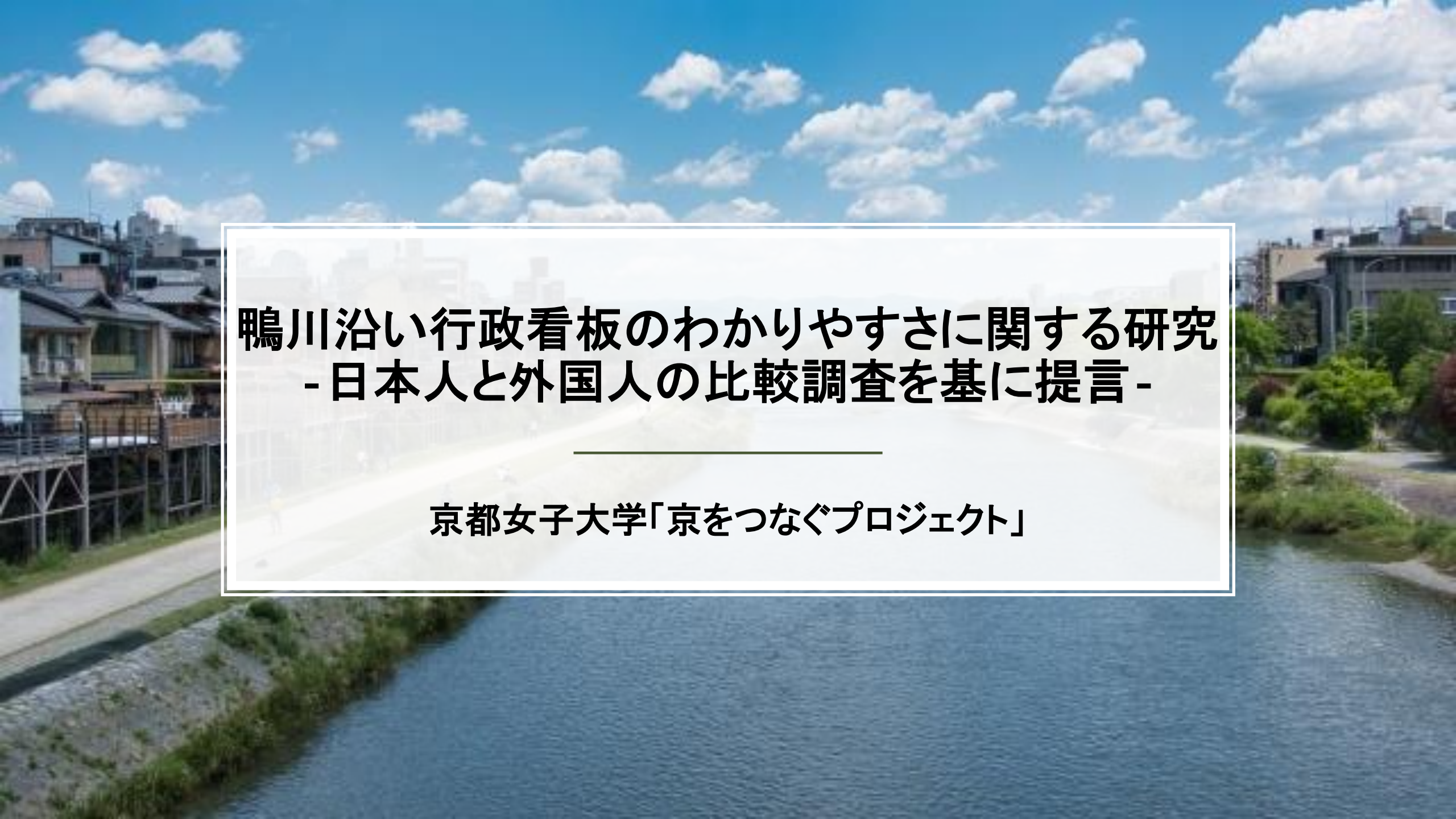


文化の違いを乗り越えながら生活の調和を図る

多文化共生へ

「**わかりやすさ**」という観点から
人々の憩いの場における
注意喚起標識・案内板等を見直す



The background of the slide is a photograph of a wide river, likely the Kamogawa in Kyoto, flowing through a city. On the left bank, there are traditional Japanese houses with tiled roofs and wooden balconies. On the right bank, there are modern buildings and greenery. The sky is bright blue with scattered white clouds. A semi-transparent white rectangular box with a thin black border is centered over the image, containing the title and project name.

鴨川沿い行政看板のわかりやすさに関する研究 - 日本人と外国人の比較調査を基に提言 -

京都女子大学「京をつなぐプロジェクト」

なぜ注意喚起標識・案内板？

祇園町南側地区における実証実験結果(京都市が2020年9月30日～12月8日に実施)

【マナー情報のプッシュ通知】

全体の**16%**しか受信せず

【ポスターや看板等による注意喚起】

全体の**約40%**が注目

その**96%**が行動を改めるきっかけに

アプリ等のデジタル活用よりも効果的



なぜ注意喚起標識・案内板？

- ・設置環境の改善
- ・必要性や実効性の見直し



「外国人」×「日本人」
＝『観光と市民生活の調和』

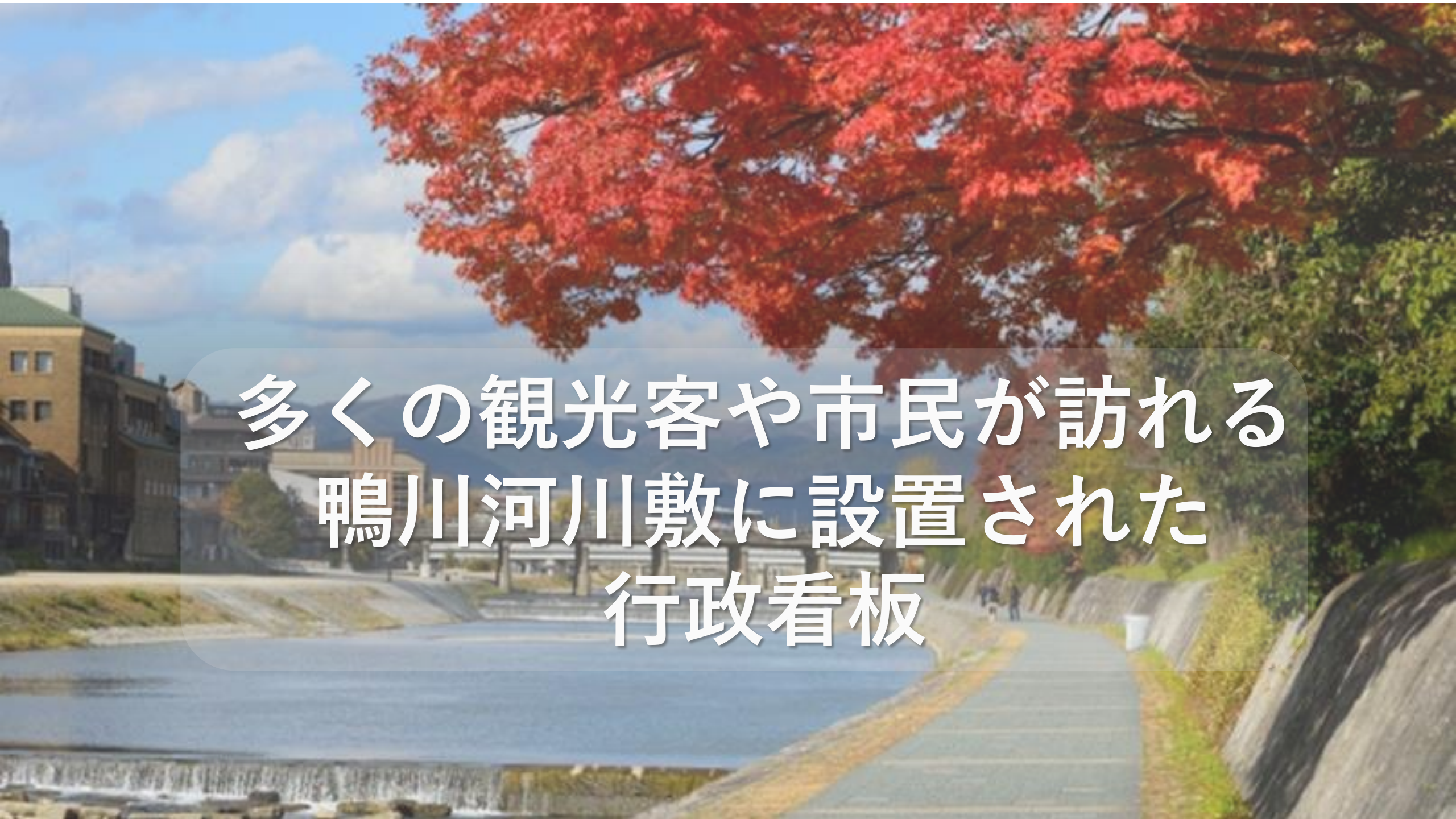
なぜ注意喚起標識・案内板？

マナーやルール遵守啓発に実効性はある？

本当にその場所に必要？



改めて在り方を見直すことが重要



多くの観光客や市民が訪れる
鴨川河川敷に設置された
行政看板

京都府・京都土木事務所と連携

京都府 河川課

京都土木事務所

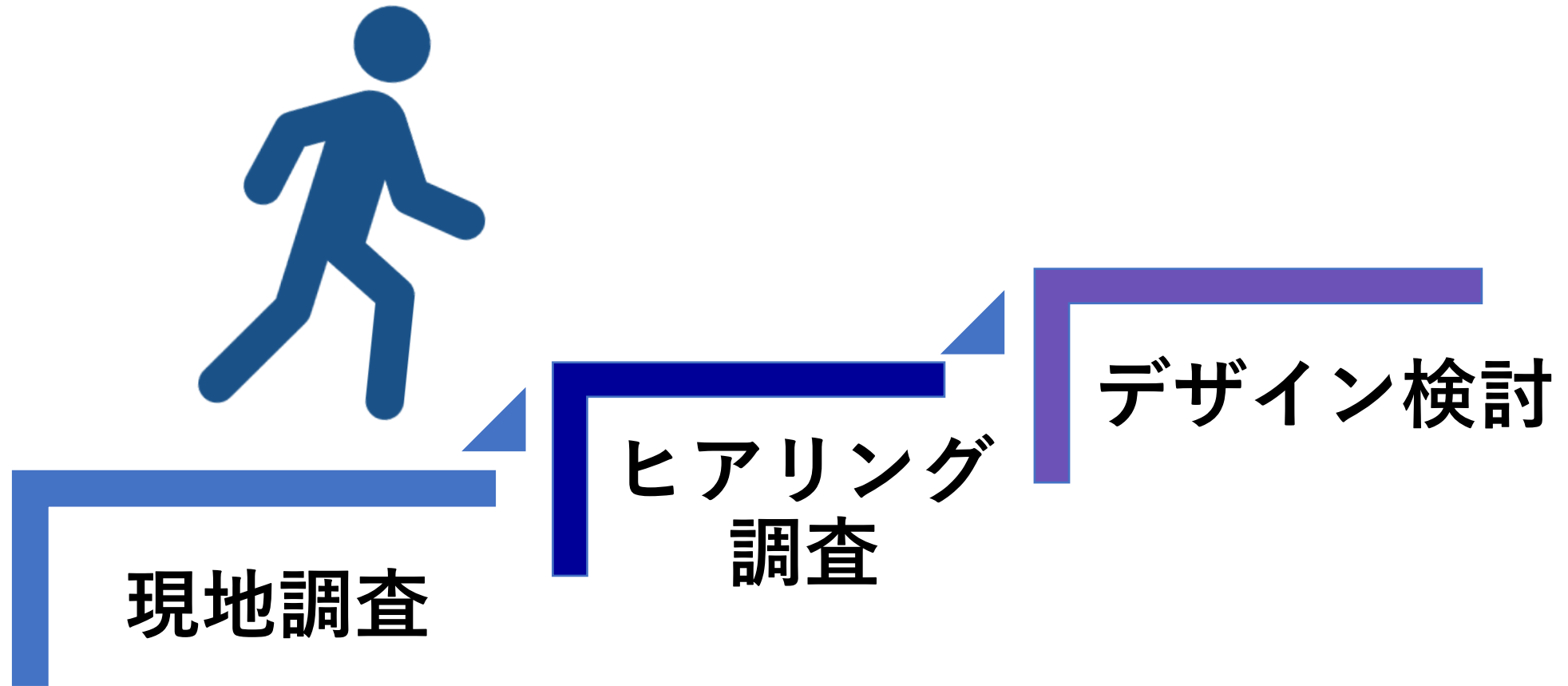


京都女子大学 京をつなぐプロジェクト

行政看板とは？

行政機関により設置された
注意喚起標識や路面標示等のサイン

デザイン検討プロセス



現地調査



鴨川河川敷における行政看板の現状

①行政看板が乱立している

鴨川の四条大橋～北山大橋区間

目視で明瞭に確認できた看板数：**97**施設

京都府の調査：**527**施設

茂みに隠れているものや、人が立ち入ることのできない場所に設置されているものも存在

鴨川河川敷における行政看板の現状

②行政看板のデザインが多種多様



統一感がない



鴨川河川敷の利用状況

- ・ 散策やウォーキング、気分転換・休憩、語らい
- ・ 自転車の**高速走行**が多い
- ・ 音楽を聴きながらの自転車走行も見られる



調査対象とする行政看板



図①



図②

図①の行政看板について



図①

【内容】
自転車のスピード抑制を喚起

【設置場所】
三条大橋～御池大橋右岸

図②の行政看板について

【内容】

- ・ この先に、階段しかない（スロープがない）ことを案内
- ・ 路面貼付型

【設置場所】

御池大橋右岸スロープ下



図②

A wide-angle photograph of a large, multi-span concrete bridge crossing a river. The bridge has a series of tall, rectangular concrete piers supporting its structure. In the background, a city with several buildings is visible under a bright blue sky with scattered white clouds. The foreground shows a grassy bank on the right and a rocky, debris-covered area on the left. A semi-transparent dark blue rectangle is overlaid in the center of the image, containing the text 'ヒアリング調査' in white.

ヒアリング調査

ヒアリング調査

【対象者】

外国籍で京都在住 or 京都に留学経験がある外国人：28名

(アメリカ・イギリス・韓国・台湾・中国・ドイツ・フィリピン・フランス)

鴨川で過ごしたことがある・知っている日本人：34名

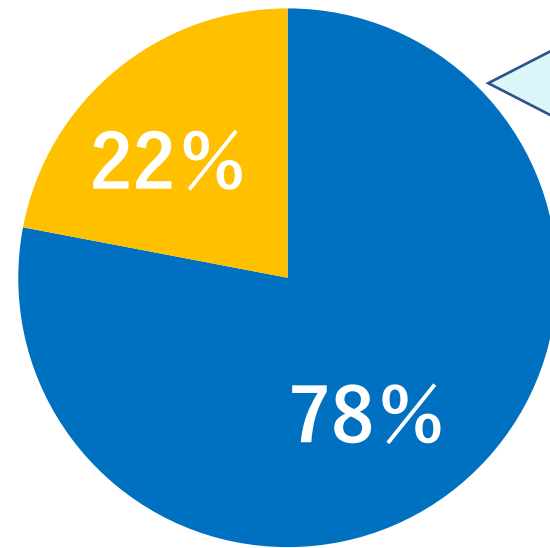
⇒外国人・日本人ともに20代～50代の男女

ヒアリング調査結果 図①



図①

【意図を理解できるか(外国人)】



■ わかる ■ わからない

- わかると答えたなかにも、、、
- ・ 後ろから来た自動車に注意しなければならない
 - ・ 自転車に轢かれる可能性がある



本来の意図とは異なる解釈

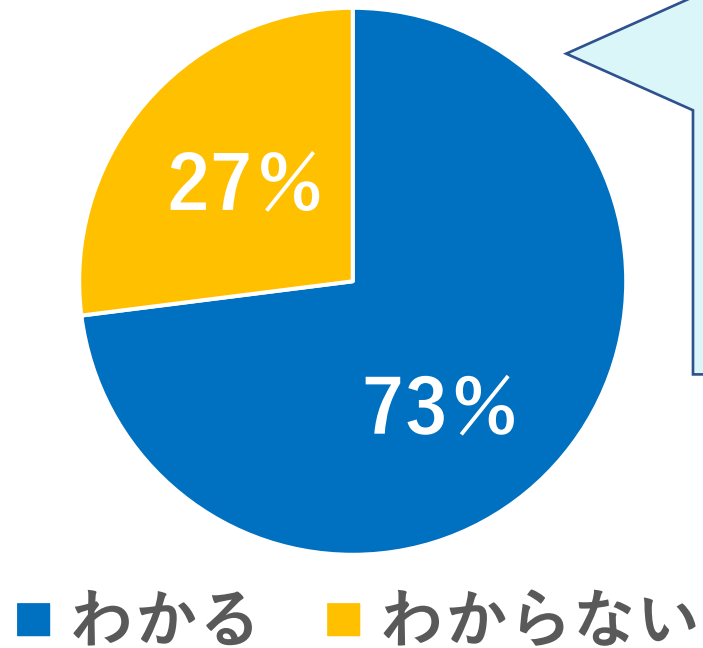
日本語表記のみでは、正しく理解できない

ヒアリング調査結果 図①



図①

【意図を理解できるか(日本人)】



- わかると答えたなかにも、、、
- ・ 急に出てきた歩行者とぶつかる可能性
 - ・ 歩行者向けの看板

本来の意図とは異なる解釈

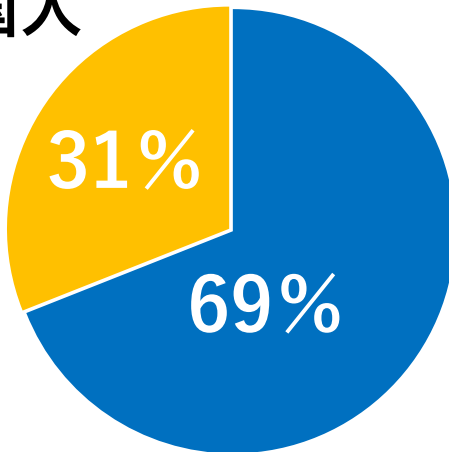
ヒアリング調査結果 図②



図②

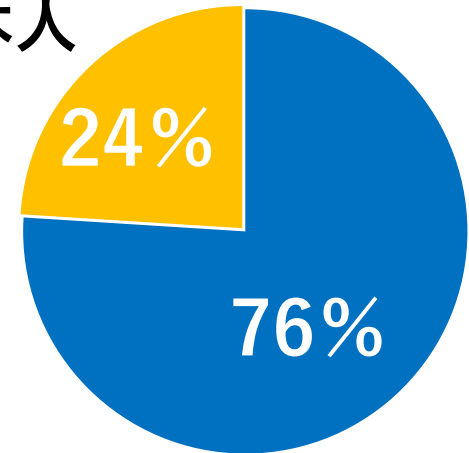
【意図を理解できるか】

外国人



■ わかる ■ わからない

日本人



■ わかる ■ わからない

- ・ この先、自転車と車椅子は(全面的に)通行不可
⇒ **本来の意図とは異なる解釈**
- ・ 情報量が多い

本来の意図と異なる解釈が生じる背景

設置者側

行政看板を見る人が
どのように理解するだろう



デザインに反映



プロセスが不十分



提案

図①の代替案 図③



図①



図③ スピード抑制

代替案 図③の特徴

元案



2020年案



2021年案



2022年最終案



- ① 自転車運転者を中心に
- ② 英語表記の追加
- ③ 京都らしさを重視したデザイン

図②の代替案 図④



図②



図④ 案内標識

代替案 図④の特徴

元案



2020年案



2022年最終案



- ① 情報量を減らし簡潔に
- ② 自転車を中心に
- ③ 京都らしさを重視したデザイン

ユニバーサルデザイン

図③の代替案



図④の代替案



- **UD（ユニバーサルデザイン）** フォント使用
- **ジェンダーバランス** 配慮

考察・提言

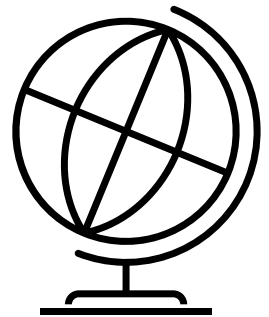


デザイン検討プロセスを通して

日本人には伝わっても、外国人には理解しづらい



日本人・外国人 双方にとって「わかりやすい」
ユニバーサルな行政看板を目指す

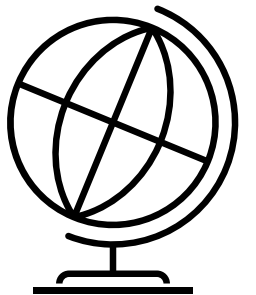


デザイン検討プロセスを通して

文化や生活習慣の違い ➡ マナー違反行為



適切な情報提供・理解を促す



デザイン検討プロセスを通して

世界共通である注意喚起の
色彩・ピクトグラムの使用

+

英語表記の追加



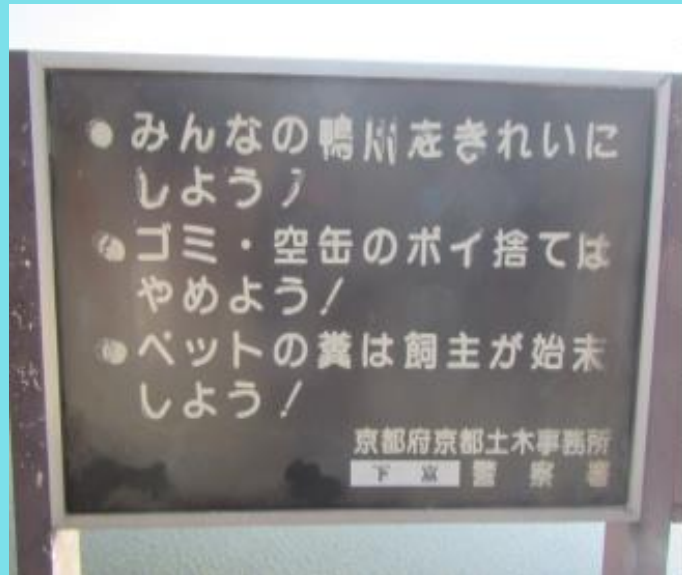
より偏りのない意見集約へ

今回のヒアリング調査対象者数

外国人 **28**名、日本人 **34**名 計 **62**名

ヒアリング調査対象者のさらなる増加

行政看板の調査対象を拡大



ほかにも「わかりにくい」
行政看板が…



共生のために



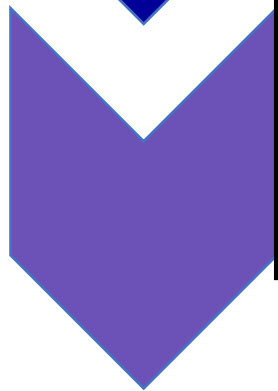
ヒアリング調査

必要性・実行性の見極め



デザイン作成

意図が正しく伝わるか 調査



設置

設置環境の改善

The background features a vibrant gradient from deep purple on the left to bright orange on the right. Overlaid on this are numerous thin, wavy, hand-drawn lines in white, yellow, and purple. Some of these lines form circular or bubble-like shapes. A semi-transparent white rectangular box with a thin black border is centered in the image, containing the main text.

共に快適に過ごすことのできる
「まちづくり」の実現へ

参考文献

全て最終閲覧日：2021/12/14

- ・京都市観光協会HP「京都市における観光調査関係の資料一覧」
https://www.kyokanko.or.jp/survey_list/
- ・京都市（2019）「令和元年 京都観光総合調査」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/cmsfiles/contents/0000271/271655/honsatu.pdf>
- ・京都市HP「『市民生活との調和を最重要視した持続可能な観光都市』の実現に向けた基本指針と具体的方策について（中間とりまとめ）」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000260038.html>
- ・京都市 産業観光局 観光MICE推進室「持続可能で満足度の高い国際文化観光都市を目指して」
<https://unwto-ap.org/wp-content/uploads/2021/03/6929b940e4802cf13960acbb172247c2.pdf>
- ・永見豊 岩里泰幸 鈴木晴子 井上徹「アナモルフォーシスを用いた逆走対策立体路面標示のデザイン」『交通工学論文集』4巻1号 pp. B_57-63(2018)
- ・京都府「平成27年度 鴨川利用実態調査結果」
<https://www.pref.kyoto.jp/kamogawa/documents/12siryou5-4.pdf>
- ・京都市「令和元年京都観光総合調査結果」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/cmsfiles/contents/0000271/271655/gaiyou.pdf>
- ・京都府「外国人入国者数・日本人出国者数の推移」
<https://www.pref.kyoto.jp/kokusai/documents/01syutunyuukoku.pdf>

ご清聴ありがとうございました